**現場の週報から（令和2年8月3日～9月6日）**

**【8月3日～8月9日】**

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・6日にご利用者から体を動かしたいと希望があり、運動会をしました。運動会の競技で何をするかみんなで話し合いました。「綱引き昔したからやってみたいね」「玉入れもいいね」と、行う競技はご利用者が決めてくれ、ハチマキ作りもしました。ハチマキに“ガンバレ”と、Tさんが書いていました。競技のメインは楽しみなパン食い競争です。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・9日あいにくの天気でしたが、ビアガーデンを行いました。外では男性陣のバーベキュー・室内では女性陣の焼きそば作りや漬物作り。個別の皿を準備し換気・消毒の徹底、テーブルの席を分けるなど配慮し、3密に注意し行っております。「いや～久しぶりだね」・「企画してありがとね」など久しぶりの日曜の取り組みにご利用者・職員の笑顔の輪が広がりました。コロナの怖さはありますが、正しく恐れ、お互いが対策を徹底することで今できる事を行っていきたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・毎週のようにご報告させていただいていたかぼちゃですが、ついに本日収穫しました。まだ食べてはいませんが、これからみんなで味わいたいと思います。（OSさんは畑を手入れしてくれているOGさんとかぼちゃの写真を撮りたいそうです）ここのところずっと気分が落ち込んでいたYさんにも収穫したかぼちゃをみていただきましたが、ちょうどいい具合で収穫したねと言ってくださいました。（Yさんは農家です）

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・Kさんが特養への入所決定となりました。原則外出は自粛ですが、ご本人の楽しみの一つでもある職員とのラーメン屋への外食を人ごみの少ない時間帯で前後の消毒や感染対策も万全にしたうえでゴーサインを出し、職員もご本人も大変楽しまれてきたようです。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・今年は花火大会も中止の所が多いので、8月の設えと夏祭り用にご利用者と一緒に、折り紙や画用紙を使って花火を作成しています。ご利用者それぞれの花火のイメージがあり色や形も様々です。もうすぐ大輪の花火がゆめみの夜空に打ちあがる予定です。また、テーブルにアクリル板を設置しました。「ナニコレ？」「今、コロナが流行ってるから咳とか、くしゃみで唾が飛ぶのを防ぐ為だよ！」とご利用者同士の会話。慣れないアクリル板で反射が気になる方もおり、テーブルの上でどこに置こうか移動している姿も見られました(>\_<)

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・今週お誕生日を迎えた方の東京の娘さんから「お父さんお誕生日おめでとう」の電話がありました。担当の職員は以前、面会に来てくださったときに取った家族写真を額に入れ装飾しプレゼントされていました。それをもって記念撮影し他のご家族様にその写真をプレゼントしたいと思います。ご本人やご家族様のことも考え記念日を大切にしてくれる職員の皆さんに感謝です。

■ゆかりの樹：佐々木英光さん

・晩酌が日課の女性Sさんの誕生会をノンアルコールビールと、ご飯・片栗粉・あんこ・生クリームを使った懐かしい素朴な味わいのお菓子作りをしてお祝いさせて頂いた。以前よりお酒が飲みたいねとお話しを伺っており、ノンアルコールビールではありましたが「まさか飲めるなんてね～」と気分よく喜んで下さり、周りの皆様・職員にもお酌して下さり、心地よい雰囲気の中でお祝いをさせて頂いた。普段はお酒を飲まない女性の方、いつも水分が進まない女性の方もコップに手が伸びて飲んでおられ、意外な一面の発見と利用者さん同士の交流が新しく生まれ、皆さんの中で何かが芽吹いたそんな大切な時間になったような気がします。これからも限られた時間の中でその方と対話し共に何が出来るのかをもっと模索し、より良く過ごして頂ける時間となりますよう、皆さんとコロナ対策に力を入れながら話し合いを積み重ねて取り組んでいきたいと思います。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・今週は、暑い日が続いており、かき氷を利用者さんと一緒に作り、食べて少しでも涼しさを感じて頂けるように提供させて頂きました。水分がすすまない利用者さんも、かき氷を提供すると皆さん喜んで食べて頂けます。脱水の予防にもなります。準備の段階から利用者さんは昔、よく食べたね。こんなはいからな上にかける物は無かったとお話しされたいました。みなさんに喜んで頂けたようです。

■グループホームはごうの杜：小山匡信さん

・仙台七夕が新型コロナウイルスの影響で開催できないことを報道で聞いた入居者さんより「昔はよく行ったのに見れなくて残念だ～」と話があり昼食時に提供している寒天ゼリーを七夕仕様に作成しみんなで食べました。「夜はあまり空を見ないから天の川とか出てたのかな？」と入居者さんと話も盛り上がり昼食時は「綺麗だから食べるのがもったいない」と話されておりましたが、召し上がると「美味し～い！」と皆さん喜ばれておりました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・今年はコロナ禍の中で、ゆづる夏祭りが行えないので、20日、26日と2週にわたり納涼会として縁日メニューとして、昼食も兼ね実施したいと思います。お年寄りの皆様と一緒に企画・準備し、当日も一緒に準備したいと計画しています。お年寄りからは焼きそば、焼き鳥、枝豆は決まりだっちゃね。あとビールもね。うーん、今年はノンアルコールにしましょうなど会話が聞かれております。スイカ割もし、一味違った夏の風情をみんなで楽しもうと思います。イベントの計画の中には、お昼でもありながら花火の文字が・・・。今年はコロナで各地の花火大会も中止です。ゆづるでは小さな昼花火で夏の匂いを感じ満喫します。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・「8月13日～15日はお盆のイベントがあるね。楽しみだよ。7月の七夕イベントのときのスタッフのひげダンスは、とても懐かしく良かったからね。私も昔、余興やっていたんだよ。」とご利用者からイベントを楽しみにしているという声が聞かれております。いよいよ今週が、お盆イベントなので皆が楽しんでいただけけるように準備をしっかりと行って参ります。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・８日スイカ割をしました。スイカを囲んで丸くなり、最初は予行練習として新聞を丸めた棒を使い一人一人やりました。（雰囲気を出すために、タオルで目隠しもしましたが、ちゃんと職員が横について転倒などには注意をしました）。練習後は本番の棒を使い、目隠しをしながらスイカを叩きました。皆さん１回に一振りだけでなく、数回バンバンと叩いていました。ヒビや傷はつくが、それでも割れないスイカ…。最後は職員が高い所から一撃を振り下ろし、無事割れました。割れて赤い実が見えた時は「わぁ～」等と歓声が上がりました。その後は食べやすくカットし、「甘くておいしいね」等とみんなで美味しく頂きました。

**【8月10日～8月16日】**

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・ご入居者のみなさんとお盆の過ごし方を話している際に、「昔はみんな遠方からもお墓参りをして本家でスイカ食べて過ごしたんだよ～。あ～良い時代だったね～」と話されるかたもいらっしゃりました。早速、スイカを購入させていただき、みなさんで色々なお話しをしながら楽しく召し上がっております。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・ちぎり絵で「あまびえ」を制作しています。コロナウイルスが寄り付かないように、願いを込めて。と同時に、いつもなら合同で行う夏祭りは、今年は事業所で行うこととなり、準備中です。皆さんが主体となり、想いで深いものになればと思います。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・12日お盆に食べる、おくずがけのメニューの話とお盆の話題になりました。迎え火をするかの話になり、Oさんが「仏壇もないからいいわ、しなくて」と。その話からお盆の時に大河原の花火大会の話題になりました。「いつも見てたんだとね」とKさん。今年はコロナで中止。迎え火はしなくても花火しますか？と伺うといいねーと。13日の夜に花火をしました。「昔孫としたことを思い出しました」とHさん。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週は新規のご利用者もおり調理や手作業、散歩などを行い過ごしています。ご家族もお盆中の帰省やお墓参りを控えて下さいましたが、孫に会えないなど寂しさも感じているご利用者も見られました。デイをご利用している時間はいつもと変わりませんが、自宅での非日常が未だに続いている現実を感じます。デイを利用されている時間だけでも、今まで通りの季節感や当たり前の日常を過ごしていただければと思います。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・お盆ということで、おはぎを昼食に作り食べています。おはぎ作りは、毎回入居者のRさんにお手伝いいただき助けられています。

・入居者のIさんと奥様のお墓参りに出かけています。奥様もCHいちいの杜に入居され一緒に生活をされていました。二人で手を合わせ、今年も来れたことに感謝してホームに戻ってきました。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・ご家族さんがとれたての野菜を持ってきてくれました。ナス・ピーマン・とうもろこし・・・。「さてどうしましょうか？」と、問いかけると「そりゃ～今すぐ食うべ！！。採ったらすぐに食べる！！基本だ！！」なるほど～。ピーマンとなすは夕飯のおかずに。とうもろこしはゆでで速攻頂きました。ごちそうさまでした。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・今週は少人数で行う久しぶりのイベントがありました。11日にハーバリウムを作ったのですが、皆さん真剣な眼差しで集中されておりました。完成したハーバリウムをどこに飾るか皆さん楽しそうに話されていました。多職種協力し合って無事に乗り切ることが出来ました。午後の利用者さんとゆっくり話す時間も継続していきたいと思います。



■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・13日(木)～15日(土)の3日間お盆イベントを実施しております。ホール内で出店を用意し、密にならないように配慮しながらスタッフと一緒に回って頂きました。ご利用者も楽しそうに出店を回ってゲーム等を楽しんでおりました。また、「出店も楽しかったけど、落合さんと我妻さんの芸は本当に面白いね。また、やってね！！」という声をいただきました。9月は敬老会を企画しておりますので今からご利用者と設えの準備等進めて参りたいと思います。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・10日の午後、小野ＣＷからかき氷を皆に振る舞いたいと申し出があり、三密に配慮しながらかき氷を提供しました。体験利用の方も喜んで召し上がっておりました。水分がなかなか進まない方もかき氷は喜んで食べていました。いつもとは違った楽しい水分補給の時間になりました。

・14日は幸楽苑のテイクアウトを行いました。11名のご利用者が注文されております。注文されたご利用者には食べている様子を写真に撮り、帰りの送迎時にプレゼントしています。ご家族からは出前企画に対して「こういうこともしてくれるんですね」と声を頂いております。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・お盆期間ではありましたが、例年とは違い、外泊・お墓参りへの外出もなく、お盆らしいことがなく過ぎてしまったように感じます。今週は大々的にとはいきませんが、各ユニットでイベントを企画しています。利用者さんの意見を聞きながら、夏祭りのようなメニューを考えているユニットと、お寿司が食べたい！というユニットとそれぞれの利用者さんのご意向を大切に企画して下さっています。先週収穫したかぼちゃは19日のイベントの日に切ってみることにしました。まだまだ暑い日が続きそうですが、体調管理をしっかり行いながら過ごして行きたいです。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・今週はお盆ということでしたが、例年とは違い、帰省できないご家族や親戚のお話が多く聞かれました。それでも、ご先祖様をお迎えするための準備はしっかりしないといけないと、ご自宅の仏壇に飾るものの話で盛り上がりました。また、ご利用者と一緒に縁日を行うために準備をしております。昼食など屋台風にするのでそのための暖簾やメニューを作成して頂いてます。モグラたたきゲームも試行錯誤しながら作成中です。果たしてどんなモグラが出てくるのか、ご利用者の方から楽しみだわと声が聞かれています。

■介護老人保健施設希望の杜：高橋秀和さん

・畑で作っていたとうもろこしを収穫し、皆さんと一緒にいただきました。天気が良くなり、暑すぎるくらいですが毎年中心となって畑づくりをしてくださるMさんと汗を流しながら、収穫し終わったところから耕し、白菜を植えました。また、希望の杜通所では、個別の関わりを大切にしながら、花壇づくり、習字、裁縫と集団活動ができないからこそ、お一人お一人との関わりを楽しんでます。

■特別養護老人ホームふたばの杜：佐山晴香さん

・ご利用者一人ひとりに「入居施設における新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために」を説明しております。「いろいろ施設でも考えているんだね」というお言葉や「私は死ぬときはここで過ごしたい！ここを離れたくない！」という意見、いろんなお声を聞くことができました。皆さん心配な気持ちはあるものの「しょうがないよね…いやな時代だね」と私たちの話を真剣に聞いて下さっています。

**【8月17日～8月23日】**

■ゆかりの樹：佐々木英光さん

・規模は小さいながらも利用者さんの「線香花火でもしたいね」「浴衣でも着て踊りたいね」の声から、夏祭りをさせて頂きました。線香花火は外に出て日陰のベンチに座り、風のある中でなかなか火もつかず、昼間の明るさとせっかくついてもわずかな時間しか花火の灯が見られない場面がありました。それでも「あ～懐かしいね。昔はこういうのしかなかったから」と、何か思い出に触れる瞬間になったのではと感じております。はっぴを着て盆踊りの曲が流れると、自然と体を揺らしながら踊りをされる女性の方もおり「膝を曲げて踵を上げるようにして踊るといいんですよ。今日はお盆とお正月が一度にきたようで楽しかったね」と、感想を述べておりました。祭りにちなんだ食べ物も召し上がり、それぞれに夏のひと時を感じられた時間であったとすれば幸いです。コロナ禍を念頭に置き、日々の振り返りや細かい所の配慮もさせて頂きながら、出来ることを皆さんと考え、共にナラティブな関わりを目指していきたいと思います。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・18日に夏祭りを開催しました。今年は規模を縮小し、各ユニットでの開催でした。昼食に焼きそばやフランクフルトを皆さんと一緒に作り、ノンアルコールビールやラムネ、ジュースで乾杯をしました。午後はかき氷、綿あめ作りを楽しまれていました。おやつ前に、すいか割を行い、「右！右！もっと前！」などの掛け声のもと見事に割り、少しでも夏の醍醐味を味わって頂けたかと思います。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・23日に夏祭りを開催しました。今回の夏祭りはテーブルの配置から消毒スプレーの設置、換気に至るまで様々なところに配慮しながら実施しました。そんな中ではありましたが、普段あまり笑わない方も、縁日まわりの時は表情が明るくなり、ゲームで獲得したお菓子を子供たちに嬉しそうに配る姿もありました。最近通い始めたSさんは千坂GMとかき氷・ジュースブースを担当しており、Sさん自身も楽しめたようでした。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・16日Hさんが気落ちしておりどうしたのか伺うと「お盆なのに墓参りも線香もあげてなくて」と話を受けました。お墓はGHの近くにあり自宅も徒歩でも10程のところ。17日ご本人とお墓の位置を確認し18日に行ってみました。「大変だから行けないよ」と話していましたが、お墓のすぐそばまで行き見える位置で手を合わせました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・今週は夏祭り週間として廊下に綿菓子機を設置し皆に作って頂き食しました。その他にもスイカ割りやデザート作りと少しでも季節感を味わって頂き楽しんでもらえるようにご本人達と立案してきました。綿菓子はとても好評で「童心に帰ったようで良いねー」「わかなの杜はいつも色んなイベントがあるねー」と皆さんご満悦でした。「こういう状況なのにイベントのことを考えてくれて感謝です。ずっとデイサービスに来たいと思います」と仰って下さったことがとても嬉しく思いましたし、まだまだ制限がたくさんある中のイベントですがご本人が主体となり笑顔が増えていけるようにこれからも関わっていければ良いと思います。来週はたこ焼き作りイベントを予定しております。「楽しみー！！」のお声がたくさん聞かれています。



■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・23日デイで企画・実行された夏祭りに、ショートステイからも参加させていただきました。縁日や出店をまわり、皆さん昔を思い出したり、楽しいお祭りの雰囲気を楽しまれていました。利用者さんからは、それぞれに小さい頃を思い出すね。お祭りはいつになっても楽しいものだね。と言った感想があちらこちらから聞こえてきました。皆さんからたくさんの笑顔が見られ、みんなと一緒に楽しく、貴重な時間を過ごすことが出来ました。縁日や出店をまわり、利用者さんからは、昔を思い出すね。お祭りは、本当に楽しい気持ちになるねと言ったお話しや感想が沢山聞かれました。笑顔が沢山見られ、食べ物等も残さずに全部食べられていました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・自粛が緩和され、面会ができるようになり、早速ご家族へ電話にてご報告しました。できる時に、できる事を、後悔しないように。買い物も曜日を決めて再開することにしました。「良かったねえ！」お買い物をする、そんな当たり前のことに慎重になる、この事態を改めて受け入れなければならない現実がありますが、皆さんの笑顔に救われながら、日々過ごしています。今週、いちいの風の夏祭り。皆さんと楽しい時間を過ごしたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・19日に夏祭りイベントを行いました。1階は焼きそばを作り、スイカ割りとビンゴゲームで盛り上がりました。（スイカ割りでは張り切り過ぎて尻もちをついてしまいましたが…）2階はお寿司を食べて、歌を歌い、盆踊りを踊りました。どちらのユニットも、いつも以上の笑顔とかけ声が聞こえて楽しいひと時を過ごしました。来月は敬老会を予定しています。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・19日ギョーザ作り。ご利用の皆様に餃子餡を包んで頂きましたが、皆様手際良くあっという間に用意した皮が無くなり、形も味も良い餃子が沢山できあがりました。お隣のGHにも配り皆様も大変喜ばれておりました。20日翌日は納涼祭第1弾として、焼き鳥、焼きそばを焼き、ノンアルコールビールも準備し昼食はコロナ・暑気払いとしてモリモリ食べてスタミナをつけました。午後にはスイカ割も行いコロナ禍の中での夏の風情を満喫しております。今週は曜日を変えての納涼祭第2弾です。ご利用される皆様と一緒に楽しみたいと思います。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・毎年かなでの杜の駐車場で古川の花火をみるのが恒例となっておりましたが、今年は中止となったため行事委員を中心に娘さんなどもつれてきて本格的な花火大会を行いました。皆さん手作りのかき氷を食べながらほんの少しでも夏らしさを感じて頂けたのではないかと思います。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・19、20日に２日間を通し、スイカ割りを行い、ご利用者さんに夏の風物詩を感じて頂きました。なかなかスイカが割れず、笑顔が絶えないスイカ割りとなりました。感染予防を徹底しながら今後も様々なイベントを企画していきたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・毎月定例会にしたいと言っていたデイのKさんと渚のご利用者３名のお茶会をなんとか実現させたいとZOOMを活用し19日に実施しました。ひだまりスペースと相談室に分かれてケーキとお茶を食べながらお互いの表情をみて「元気そうね～今度は会うからね～」と。途中、電波状況悪くとぎれとぎれになったので最後は入所スペース入り口の扉前に集合。「扉あるけどやっぱり直に顔をみたいもんね」と。顔を見て安心したとみなさん早々に「んじゃ、また来月ね～」と解散していきました。どういう形であれ、継続できることを大切にしたいと思っています。

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：高橋秀和さん

・畑で作っていたキュウリも残り少なくなり、暑い中ですが短時間でお年寄りとスタッフが収穫し同じく畑で育てている青菜を混ぜた浅漬けをこしらえ、毎昼やおやつ時に振る舞い好評です。花壇の雑草の整備を行いプランター用の土や腐葉土を混ぜ、ただいま秋に向けてどんな草花を植えるかみなさんで楽しく思案中です。

**【8月24日～8月30日】**

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・今週は２件ＺＯＯＭでの面会希望があり実施しました。１名は以前も行った方で、相変わらず母親としての意識にあふれ「私は大丈夫だから！あんたこそちゃんとしなさいよ！」等と娘さんに話していました。ですが、今回は「いつこっちに戻ってくるの？」「仕事辞めて戻って来なさい」という話をしており、娘さんは「仕事辞めたら食べていけないでしょ～」と。「それは実家に米だの頼むからさ」等と、やはり会えない、近くにいない寂しさが出た瞬間だなと聞いていました。それでも最後には「私はここで楽しくやってるからね！安心しなさい。あんたも体に気を付けなさいよ！」等と、いつも通り前向きな言葉で終わりました。もう１名は初めての方で、息子さん２人、娘さん１人の３回線をつなげての面会でした。画面越しのご家族を認識する事が難しく、職員２名で何度も視線をカメラ、画面に向けるのに一生懸命でした。その様子を見て、息子さん達は笑っていました。それでも、途中途中、画面の顔に気付き、画面を指でタッチしている様子があり、それを伝えるとご家族は嬉しそうでした。「お母さん！肌つやがいいね。綺麗だ」と言われると、タイミングよく「そうでしょ」と言葉で返し、それにはみんなが笑っていました。県外の息子さん達も久々に様子を見られて、安心したようでした。

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・先週、事業所内で納涼祭のイベントを行いました。コロナウイルスの影響でユニットを分けての実施となりましたが、内輪やフォトフレーム作り、手作りパフェを皆さんと一緒に行いました。細かい手作業にも職員と一緒に取り組まれて、それぞれ試行錯誤しながら作品を仕上げることが出来ていました。また、一緒に盛り付けして出来たパフェにも皆さんから、「上手に出来たね～美味しいよ。」との声も多く聞かれていました。

■ゆかりの樹：佐々木英光さん

・週一回ご利用のTさんが今月初めてご利用されました。ここ2カ月の間胃の不調と食欲低下を話されることが多く休みがちでおりました。27日。お迎え時「胃の調子が悪くて」と言葉を話され、わずかにふらつきと少し痩せた印象が見受けられました。娘さんよりかき氷は食べますと伺っており、かき氷は食べれますか？と尋ねると「お腹こわすかもしれないからいいわ～」とのご返答で、盆踊りも控えることにしました。トランプをしたり、昼食はそれでも全部召し上がり、食後は金魚すくいを一生懸命取り組んでおりました。午後には涼を涼みに泉ヶ岳の古民家見学に外出することになりました。さすが山の空気はひんやりして暑さも和らぎ、かやぶき屋根の古民家のいろりなどを一通り見学され、課外学習の小学生の姿を見たり、パラグライダーを上空に眺めたりと、久しぶりの外出で気分転換されたようでした。道中宮床ダムを通過すると「蛍の名所だね」と教えて下さることもありました。帰宅後娘さんにご報告させて頂くと「そうでしたか～良かったです」と、安心された表情と笑顔を見せて下さいました。理想と現実、予定と実行のずれなど、うまくいくこといかないことが多々あります。どちらに転んでも積み重ねてプラスに転換できるよう頑張って行きたいと思います。まだまだ足りない所はたくさんありますが、天候気象・世情・コロナ禍の中で公助・共助・自助の想いを大切にし、日々の振り返りや細かい所の配慮もさせて頂きながら、出来ることを皆さんと考え、これからも共にナラティブな関わりを目指していきたいと思います。

■グループホームゆかりの杜：梅村卓也さん

・30日皆さんより花火をしたいと言っており、夜花火をしました。皆さん久しぶりだったためかとても喜んでおりました。今年はコロナ禍でもあり、夏の風物詩を感じられる機会が少なかったですが、少しでも感じる事が出来てとても良かったと思っております。ご本人達からは、コロナの収束を願って花火をしたり、そして他の方からは、本日朝起きた際、昨日の花火がとても楽しかったと普段と違った笑顔が見られております。入職された職員の西丸さんも初めてイベントに参加され、「普段と違う様子が見れて良かったです。梅村さんがいつも言っていた事が分かってきました」と言っております。西丸さんは、またご本人達から話を聞いていくと言っておりました。今後もご本人達とお話を聞き出来る事を共にしながら、素敵な日々を送れればと思います。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・暑い日も続いていますが水分補給の時間をこまめに摂り、熱中症予防に努めています。かき氷は毎日おやつの時間にお出ししていますが「冷たくて美味しい」と好評です。８月恒例の夏祭りでは職員が手作りの神輿を担ぎ、静かに室内を練り歩くと「こういうのがいいんだよ」「俺もやるから貸して」と皆さん拍手喝采でした。来月の敬老会に向け皆様のご意見を伺うと「コロナの時期だからな」「敬老会じゃなく健康会やろうよ」と皆さんも意欲的に意見を述べられています。来月は健康会開催に向け皆様と一緒に企画を進めていきたいと思います。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・24.25日にたこ焼きイベントを実施しました。皆さん、「つくる楽しみ」「食べる楽しみ」を満喫されていらっしゃいました。27日は天気も良かったので、利用者さんのリクエストに答えて海を見にドライブ。「気持ちいいね～」と潮風を感じながら夏のひと時を楽しんで来ました。



■グループホームはごうの杜：小山匡信さん

・28日に前回好評だった花火大会を行いました。1回目の花火も皆さん喜ばれている方が多かったですが、不安がる方もいました。普段の会話では「夏と言えば花火よね～」と話していた方も実際の花火を見ると「おっかね～こと～」としどろもどろに…2回目の花火大会ではしどろもどろになることは無くとても楽しまれておりました。今は9月の敬老会の話を皆さんと計画中です。どんな敬老会になるのか楽しみです。



■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・いちいの風、夏まつりを行いました。日中は縁日で出店を回り、夕食後、花火を楽しみました。皆さん「子供に戻ったみたい」とアイスを食べながら、打ち上げ花火を懐かしそうに眺められていました。春の桜が貴重なように夏の花火も大切な一コマです。無事開催ができ、共に過ごせたことに、夏祭り担当の方、そして職員の方々、ご利用者の皆さんへ感謝です。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・25日に縁日を開催しました。おやつ釣りや射的、モグラたたきなどご利用者同士で対戦して頂きました。いつもはおしとやかな方も対戦となると顔つきが変わり、モグラに見立てた職員の顔写真を貼ったペットボトルをつぶれる勢いで叩いていました。他の皆さんも「ストレス解消になっていいね！」などと声が聞こえました。お昼は屋台風に設えて焼きそばやお好み焼き、唐揚げやきゅうりの漬物などを用意しました。焼きそばはご利用者でいつもお昼を職員と一緒に作って下さるIさんにホットプレートでお願いしました。食券でご利用者の皆さんはそれぞれ食べたい物を自分で選び引き換えて召し上がって頂きました。縁日の様子を仙台大学の介護実習に使うため、先生がビデオ撮影されました。先生からも「企画し実施するまでの工程も大変だったでしょうが、ご利用者や職員の皆さんがとても笑顔で生き生きしてることが、何より生徒へのメッセージになりました。」とお言葉を頂きました。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・夏祭りも行えずスイカ割りもできなかったな～と話があり、今週はかき氷週間にしました。暑い日差しの中冷たい氷を頬ばり、みなさん口々に「夏だね」「暑い時は氷がいい」「美味しいね」とおかわりをされていました。今週はデイホームの畑で収穫した野菜を使い、待ちに待った【夏野菜カレー】も作りました。野菜嫌いのご利用者も自ら、「おいしい、おかわりしていいか！」と野菜を沢山召し上がっていました。少しでもいつもの夏を感じて頂けたかなと思います。

・2週間前に東京から親戚の方が帰省し、健康観察中であったご利用者も何事もなく14日間が経過しました。息子さんへ何事もなく良かったですねと声をお掛けすると、満面の笑みで「本当に良かったですよ、ずっと心配で」と。ご自身も含めずっと気を張っていたのがよくわかります。心配事が一つ減り、ますます気を引き締めてみんなで元気に過ごしていきたいと思いました。

■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・２階ユニットにて、スイカ割のイベントを行っています。周りの利用者さんに声をかけ合い、「もう少し前だよ。」「思いっきりたたいて！！」など声援が飛び交いながらにぎやかに行われています。最後には、男性スタッフが利用者さんの応援を受けながら、スイカをきれいに割ると歓声があがりました。割ったスイカは、みんなでおやつにおいしくいただきました。「みんなで割ったから、すごく甘いんだね」「おいしいね」と召し上がっていました。「スイカ割なんて久しぶりにしたから楽しかった」と皆さん楽しまれていた様子でした。新規の利用者さんも入所され、レベルの引き下げとなったので、色々な活動を利用者さんの意向を聞きならが、対策をしっかり行い、今できることを行っていきたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・26日。１階岬渚で夏祭りを開催しました。ご家族さんにも協力もらい自前の浴衣をご持参いただき、紺色やピンクなどの浴衣姿に一気に華やかになりました。ご利用者さんはパッピと浴衣で参加し魚釣りゲームとスイカ割りを楽しまれました。密にならないよう感染予防に気を遣いながらでしたが夏のひと時を感じられた時間でした。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・26日。納涼祭第2弾実施しています。焼きそば作りやフランクフルトの焼きをお年寄りの皆様が調理してくださり、美味しくみんなで頂きました。午後からは駐車場での昼花火です。みなさん「きれいだったよ、昼の花火もいいね」と予想外の高評価でした。お一人暮らしされているSさん、焼きそば、先週の餃子作りをし、「美味しい作り方教えてもらったから、家で少しだけど焼きそばと餃子作って食べてみたは」と報告してくれました。スタッフが汗水ながし暑い中、準備して行う夏祭りも楽しいですが、焼きそばを提供しただけでは美味しかったで終わることが多いかもしれません。しかし、お年寄りが焼きそば作りに参加することにより、「美味しかった+自分で作る」

が加わりました。本来のRBAの視点・姿が見えて良い納涼祭になりました。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・以前、老健に入所されていたAさんが、「お友達に手紙を書いたから届けてほしい」と話されて手紙を持って来られました。「わかりました。渡しておきますね。」と言ったもののｚｏｏｍを使えば直接入所のお友達とお話ができると思いｚｏｏｍの提案をしました。最初は恥ずかしいからいいからと言っていましたが、約束の時間の１０分前には事務所へ行き待っていました。しばらくぶりにｚｏｏｍを通して会話をされて「こんなにいいのがあったのね」とニコニコとデイルームに戻ってきました。今後もｚｏｏｍを通して入所のお友達とのつながりが途絶えないようにしていきたいと思います。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・24日。利用者と職員が協力して、うどん作りを行ないました。1人の職員さんが以前から粉から利用者さんと一緒に、うどんを作りたいと企画があり今回、やっと念願が叶い粉からのうどん作りを行うことが出来ました。利用者さんからは、粉からどうやって、うどん作りをするのよと言った声が聞かれ、不安の中で作業がスタート。粉を練って、足で踏んでと、利用者さんも自分の役割を一生懸命に行い、初めてのうどん作りが出来ました。完成したうどんをみなさんが笑顔で食べられ、なかなかの出来だったようです。みなさんからもおいしいと言った感想が沢山聞かれました。成功に終わった初めてのうどん作り、次回に向けての計画も進行中の様です。利用者さんからの好感触を受け楽しく有意義な時間をみんなで過ごすことが出来ました。

**【8月31日～9月6日】**

■介護老人保健施設きぼうの杜通所リハビリテーション：高橋秀和さん

・お年寄り・スタッフを交えて劇を行いました。離れた場所で司会者がストーリーを話しながら演じ手は、声をあげず身振り手振りで表現しました。演じ手が上手だったのか見て頂いたお年寄りに好評をいただきました。

・カラオケを行いました。唄い手にマスクを装着してもらい窓を全開放し換気を徹底しました。唄い手周囲にアクリル板をほどこし飛沫の防止に努めました。口ずさむ事を慎んでもらい周囲のお年寄りやスタッフは拍手で盛り上げました。

・個別に関わる時間の中でお年寄りとの何気ない会話から「暑いからソフトクリームが食べたい」という気持ちにスタッフの柏倉さんがその日、すぐに少人数でドライブへ出かけてソフトクリームを一緒に召し上がりました。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・室内装飾を秋バージョンに変更しています。「この紅葉はまだ早いけど、一か所にまとめて飾ると見ごたえあるよ」「じゃ俺たちが飾るから場所を指定して」等、お年寄りの皆さんが相談しながらホールの壁に紅葉やコスモス等の造花を飾られています。今年の紅葉ドライブはどこに行こうか皆さんと計画しながら和やかな一時を過ごしていました。何気ない日常を大切にしていきたいと思います。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週は畑で収穫した野菜を使い、野菜炒めやサラダを作りお昼に頂きました。収穫できる夏野菜もそろそろ終わりに近づいていますが、ご利用者からは秋植え野菜の提案もあり楽しみにされているようです。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・３組のご面会がありました。お孫さんに久しぶりにお会いし「うれしいこと～。身体は大丈夫だったの～」とご自身のことよりもご家族のことを心配される姿を拝見し、ご家族のことを想う気持ちはとってもとっても温かいなと改めて感じました。今後もコロナウイルス感染に注意しながら、ご家族と過ごす時間が少しでも多く持てるように取り組んでいきたいと思います。

・敬老会の飾りつけの準備をご入居者と一緒に行っています。「きれいなはなっこ作ったんだ～」「楽しみだな～」と、みなさん楽しみにされながら作成してくださっております。当日は、お花に囲まれながら楽しく過ごして行きたいと思います。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・５日に蔵王の梨祭りがあり、梨祭りは行けないもののドライブがてら早めに行ってみますか？？と４日に行ってみました。以前、ご利用されていた方のご家族の果樹園へ。今もご縁で行かせていただいています。外の空気に触れて、帰って来ました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・診療所側のトイレは、どうしても男性の小便器を使用しているところがみえてしまうというデメリットがあり、Hさんに相談、依頼したところ、Hさん手作りのパーテーションを作成して頂きました。相談してすぐに週末作成してくださいました。今後は浴室前の暖簾の課題を解決していきたいと思います。



■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・自粛が緩和され、面会ができるようになり、早速ご家族へ電話にてご報告しました。できる時に、できる事を、後悔しないように。買い物も曜日を決めて再開することにしました。「良かったねえ！」お買い物をする、そんな当たり前のことに慎重になる、この事態を改めて受け入れなければならない現実がありますが、皆さんの笑顔に救われながら、日々過ごしています。今週、いちいの風の夏祭り。皆さんと楽しい時間を過ごしたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・Zoom面会　1名（Yさん）毎週月曜日の朝8：30にアメリカの娘さんと面会するのが定着しました。今朝、娘さんから「電話だけだとなかなか状況が分からないけど、画像を見て話しが出来るととても状況がわかりやすくて助かります。いいものを紹介して頂きありがとうございます。役職の皆さんにも伝えて下さい」とお話がありました。Yさんも、パソコン越しに娘さんと歌を歌ったり、口笛を吹いて聞かせたり、自慢の写真付きの髭剃りを娘さん見せて楽しそうにされていました。

・まだまだ残暑が厳しいですが、涼しい日や夕方の気温が下がった時間を活用して、畑のトマトとしその収穫をしています。これから秋冬にかけて、どんな野菜を植えるか、尾形さんと一緒に考え中です。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・今月は、秋をテーマにご利用者と設えを作成。フェルトで作るミミズクと紅葉。花紙では、お月見の風景を作り、ホールを彩っています。



■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・6日にゆめみで連泊されているS子の誕生会を開きました。普段は物静かであまり自己主張はされない方なので、職員が事前に何が食べたいか尋ねると、「なし…」とご本人。「無、ああ～梨ですね」と職員。おやつにワッフルを生クリームやTさんリクエストの梨でトッピング。メッセージカードとささやかなご馳走でしたが、Tさんからは満面の笑みを頂きました。一人一人の大切な記念日、みんなでお祝いするとみんな笑顔になります（\*^\_^\*）

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・１誕生日だった利用者さんのご希望で平禄寿司のチラシが食べたい・楽しく体をお語化したい！！と希望があり平禄寿司からバラちらし寿司を購入し皆さんで食べました。「そうそうこの味」と皆さん美味しそうに食べられていました。午後からは職員手作りの魚釣りゲームで汗を流しました。見事にたいを釣り上げ「大漁だね～」と。その声を聴いて居室から皆さん出てこられ皆さんで力を合わせマグロを釣り上げていました。